

行事等

- 7月27日～8月7日：アメリカ獣医師会総会及び、ワンヘルス視察に藏内会長が出席
- 8月1日：研修プログラム基準案作成・評価作業委員会ワーキンググループ（WEB）
- 8月3日：地球環境行動会議（GEA）勉強会
- 8月6日：FAVA 執行部会議に藏内会長が出席（WEB）
- 8月8日：第34回日本動物児童文学賞審査委員会（WEB併用）
- 8月9日：アジア地域臨床獣医師等総合研修及びネットワーク構築事業 第1回推進会議（WEB）
：アジア獣医師研修及び家畜感染症防疫技術等の現地普及強化事業 第1回推進会議（WEB）
：第80回日本獣医師会雑誌編集委員会（WEB併用）
- 8月18日：プライバシーマーク現地審査
：公益財団法人 全国競馬・畜産振興会 令和4年度畜産振興事業監査（WEB）
- 8月19日：第1回認定・専門獣医師協議会委員会（WEB）
：マイクロチップ制度及び情報登録システムに係る円卓会議（第3回）
- 8月21日：近畿地区連合獣医師大会に藏内会長，村中副会長，境副会長兼専務理事が出席
：獣医師賠償責任保険中央審議会
- 8月25日：令和4年度第5回業務運営会議（WEB併用）
：第10回「第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」組織委員会に藏内会長，砂原副会長，村中副会長，境副会長兼専務理事，酒井顧問が出席（WEB併用）
- 8月27日：中部地区連合獣医師大会に砂原副会長，村中副会長，境副会長兼専務理事が出席
- 8月30日：第2回認定・登録管理システム検討委員会（WEB）
：第3回研修プログラム基準案作成・評価委員会（WEB併用）

第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会 第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）

会期：令和4年11月11日（金）～13日（日）

会場：ヒルトン福岡シーホーク



主催：公益社団法人日本獣医師会
アジア獣医師会連合
共催：福岡県 福岡市



楽しみながら
獣医師を知り
動物と仲良くなろう！

2022
10/1
(土)



いのちみつめる。いのちをむ。
公益社団法人 日本獣医師会

同時開催

令和4年度
動物愛護週間 中央行事
(屋外行事)

10:00 ~ 17:00 入場無料 <雨天決行>

上野恩賜公園 (不忍池周辺)

JR・地下鉄・日比谷線「上野駅」下車 徒歩約2分
京成線「京成上野駅」下車 徒歩約1分

募 集

福島県 獣医師採用試験



本年度より
教養試験を廃止！

採用受付期間：8月2日(火)～10月6日(木)

試験日：10月20日(木)

試験会場
福島県庁本庁舎

- 受 付 9:45～10:00
- 適性検査Ⅰ 10:15～11:15
- 適性検査Ⅱ 11:15～11:55
- □ 述 試 験 13:10～

合格発表
11月9日(水)

- 受験資格：昭和38年4月2日以降生まれた者で、獣医師の免許を有する者又は取得見込みの者
- 職務内容：保健福祉部・農林水産部における獣医業務
- 給 与：(令和5年4月1日新規採用者の給与)

大学新卒の場合

食肉衛生検査所に勤務月額
287,300円+諸手当

家畜保健衛生所に勤務月額
279,200円+諸手当



業務内容

〈問い合わせ〉

- 福島県保健福祉部保健福祉総務課 (公衆衛生分野)
電話：024-521-7219
mail：hofukusoumu@pref.fukushima.lg.jp
- 福島県農林水産部農林総務課 (家畜衛生分野)
電話：024-521-7391
mail：soumu.aff@pref.fukushima.lg.jp



採用案内

案内

獣医コミュニケーション研究会 (NDK)

日本獣医師会雑誌「獣医療とコミュニケーション」連載コラボセミナー

NDKでは、連載「獣医療とコミュニケーション」と連動したコラボセミナーを予定しております。著者の方に連載記事と関連した内容についてさらに掘り下げてお話しいただきます。参加費無料でzoomにて行いますので、ふるってご参加ください。

9月30日(金) 18:00～19:30

「産業動物臨床のコミュニケーションに関するワークショップ」(9月号掲載)

石山 大先生(石山生産獣医科)

申込締切り: 9月23日

申込先: <https://forms.gle/1163NaJnmrn8wpDu7>



11月17日(木) 19:00～20:30

「他者のコミュニケーションをみる—相互作用分析システムRIAS—」(10月号掲載予定)

松井匠作先生(日本獣医生命科学大学大学院 獣医生命科学研究所獣医保健看護学専攻)

申込締切り: 11月10日

申込先: <https://forms.gle/P34DqcVkQE9oBA2AA>



お問い合わせ先: 堀北哲也 (horikita.tetsuya@nihon-u.ac.jp)

お知らせ

動物診療施設等に勤務している動物看護職の皆様へ

愛玩動物看護師法が今年5月1日に施行されました!

講習会の受講, 予備試験への合格を通じ, 国家資格である「愛玩動物看護師」資格の取得を目指しましょう。

※関係情報は以下をご覧ください。

(一財)動物看護師統一認定機構
ウェブサイト

<https://www.ccrvn.jp/>



農林水産省
ウェブサイト

http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/doubutsu_kango/index.html



環境省
ウェブサイト

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/r0309b.html



紹介

◎新刊

米国獣医学会動物の安楽死指針

黒澤 努 (鹿児島大学)

本誌の意義

“翻訳に当たって”に記載されているように本誌は多くの国際文書で主要文献として引用されている。ISO, OIEなどの国際機関から刊行されている国際標準、綱領では本誌を参照することが勧められており、動物の安楽死関連文献としては国際的に最上流に位置付けられる。日本獣医師会雑誌においては、新刊紹介として、第75巻第7号(令和4年7月号)に掲載している。なお本誌の邦訳については日本実験動物医学専門医協会(JCLAM)がAVMAから正式に翻訳権をいただいたものである。

本誌の変遷(背景)

本誌は1963年に市民の動物福祉の関心の高まりから、米国獣医学会がまず実験動物の安楽死に関して、実験動物獣医師を支援するために刊行された。その後改訂が適時に行われている。改訂時には単に動物種を増やすだけでなく、その内容、方法についても科学的根拠に基づいてより深く検討している。特に近年では獣医療倫理と関連して倫理的な側面及び動物福祉の増進を目的に改訂されている。

本誌の歴史的変遷

- 1963年：研究会(POE)の発足と初版の発行
：イヌ、ネコ、小型哺乳類(実験動物を中心に記述された)
- 1972年、1978年：家畜を追加、動物の反応、周囲の人々への影響の言及
- 1986年：変温動物、水生動物、毛皮動物追加
- 1993年：馬、野生動物追加
- 2000年：生息数を適正数に削減する際の安楽死法への提言
- 2007年：動物種の増加、初生雛、孵化直前の家禽卵
：現行の指針名へと名称変更
- 2013年：動物種の増加、実施環境の専門的な記載
- 2020年：鎮静と麻酔の違い、CO₂濃度、その他

本誌の実際

本誌の原本は米国AVMAのwebsiteで公開されている。

<https://www.avma.org/resources-tools/avma-policies/avma-guidelines-euthanasia-animals>

この指針は適宜改訂されるので、最新の指針を参照することが必要である。したがって邦訳の本誌に関しても最新の元情報を参照するだけでなく、訳文に疑義が生じた場合は原本を参照することが強く求められる。

主要目次

- 第1部 概論
- 第2部 安楽死法
- 第3部 種や状況ごとの安楽死法
- 参考文献
- 用語集
- 付表1 動物種ごとの安楽死薬と安楽死法
- 付表2 一時的安楽死法として容認できない薬剤及び方法
- 付表3 安楽死の決定方法
意思決定の道徳性について評価する

本誌では動物の安楽死は獣医療の一部であり、獣医師は安楽死に関して責任だけでなく義務も負っていることを前提に記載されている。推奨すべき安楽死法だけでなく、条件付きで認められる方法及び認められない方法が記載されている。また安楽死が常に理想的な環境で実施できるわけではないことから状況に応じた最良の判断を専門獣医師が行うことが強調されている。

ただし、大型の動物では銃器の使用が推奨されているがわが国の銃器の法的規制を考えると適用は限定的となろう。また、消毒薬などの注射による方法等は認められていない。

本書の特色として、安楽死を実施する者、その周辺の者の心情への配慮の重要性が強調されている。動物種ごとの安楽死の付表はわかりやすいが、その付表だけを参照して安楽死方法を決定するのではなく、本文を精査して最良の方法を選択することが求められる。

伴侶動物、家畜、野生動物に関する記述も豊富で日本獣医師会会員獣医師だけでなくその他関係者のよい指針となるものと思われる。

第21回 アジア獣医師会連合(FAVA)大会
[連携開催] 第40回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)

「事前登録」をお願いします

2022年11月11日(金)～13日(日)
ヒルトン福岡シーホーク(福岡県福岡市)

参加費・参加登録期間

大会HP <https://fava2022.com>

第21回 アジア獣医師会連合(FAVA)大会と第40回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)が同時開催されます。FAVA大会にご登録いただきますと、日本獣医師会獣医学術学会年次大会や関連行事(一部有料)にご参加いただけます。参加登録料金と参加方法等は以下のとおりです。

		事前登録 (2022年10月17日正午締切)	当日登録 (2022年10月17日正午以降)
獣医師会会員 (医療関係者※1)	全日	30,000円	50,000円
	1日	20,000円	30,000円
学生※2 (学生証提示)	全日	8,000円	
動物看護師	全日	10,000円	
同伴者 (配偶者・子など)	全日	8,000円	
上記以外	全日	50,000円	
	1日	30,000円	
ガラディナー(11月12日(土))		8,000円	10,000円

※1 「医療関係者」の対象となるのは医師、歯科医師、薬剤師、看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士です。

※2 学生証提示

- 参加登録費には以下が含まれます。
 - ・ランチョンセミナーを含む全セッションへの入場料
 - ・講演要旨集
 - ・コーヒーブレイク
 - ・ウェルカムパーティー(11月11日(金))の参加費
- 参加登録は大会HP(<https://fava2022.com>)の「参加登録・宿泊予約」メニューよりお申込みください。
- 事前参加登録は、2022年10月17日(日)正午までとなります。
- 参加登録費の取消しについて
2022年10月17日(日)正午までは返金可能です。(手数料10%を引いた金額を返金いたします。)
それ以降の返金はございません。
- 新型コロナウイルス感染症による入国制限等の対応は、FAVA大会のHPをご参照ください。

事前登録の期限を延長しました

事前参加登録
受付期間

2022年10月17日(日) 正午締切



会場案内

ヒルトン福岡シーホーク 〒810-8650 福岡県福岡市中央区地行浜 2-2-3 TEL 092-844-8111



事前参加登録についての問合せ先

第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会 運営準備室

TEL: 092-451-0606 FAX: 092-451-0550 E-mail: fava_fukuoka@nta.co.jp